

---

**【JAPIC】ウィークリー・レポート【第 11 号】'09/11/19 発行**

---

社団法人日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）事務局

JAPIC 事務局より、毎週木曜日にウィークリー・レポートとして、活動報告と併せて委員会開催予定などをお届けします。

**【今回のトピック】****◆ Women's Table（日本創生委員会 政策小委員会）勉強会を開催**

11 月 17 日（火）、Women's Table（野田由美子委員長）では、メンバーの国家公務員と民間（企業・団体）および現役大学生など若い世代 30 名が参加し、勉強会を開催しました。

当日は、講師として、瀬口清之氏（(財)キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）、松岡斉氏（(財)日本総合研究所 所長）をお招きし、「(仮)30 年後の世界の動向をどうみるか」をテーマに、国家ビジョンづくりへのとりくみ方、日米中関係、日本の特色（強み・弱み）、中国情勢等について、ご講演いただきました。

Women's Table の次回（第 4 回）委員会は、11 月 25 日（水）を予定しています。

**◆ 森林再生事業化研究会 第 2 回視察会を開催**

11 月 11 日(水)、森林再生事業化研究会（主査 米田雅子慶応義塾大学教授）は、学識者および民間企業等から 23 名が参加し、中国木材(株)鹿島工場の視察会を開催しました。

鹿島工場の特徴は、北米からベイマツを大型原木専用船（6 隻）で大量に輸入しており、主に「ドライ・ビーム」（住宅構造用乾燥材）を製材・加工生産していることです。また、バイオマス発電（オール木質系燃料）で、乾燥材の製造に必要な蒸気と電気を、効率良く得ています。

物流面では、最適物流体制を整備しており船舶での大量輸送を中心とすることで、製品あたりの輸送エネルギーを抑え、環境負荷の低減及び物流コストの低減に大きく貢献しています。

現在、研究会で取り組んでいる次世代林業システムのなかで「外材から国産材へのシフト」、「木材利用 100%カスケード利用」及び物流の効率化等の検討事例として非常に参考になりました。

以上